

## BRAND OF THE YEAR 2020を発表

CM総合研究所(東京都千代田区 代表・関根心太郎)は、2020年度(2019年11月度～2020年10月度)のCM好感度ナンバーワンブランド「BRAND OF THE YEAR 2020」を発表するとともに、CM好感度ランキング上位の顔ぶれをレポートいたします。

### 2020年度 銘柄別CM好感度トップ10(全6631銘柄)

順位	企業名『銘柄名』	代表作品名
1	KDDI『au』	みんな自由だ
2	ソフトバンク『SoftBank』	勝手にHERO'S 勝手に仲直り
3	ゼスプリ インターナショナル ジャパン『ゼスプリ キウイフルーツ』	好きなことを楽しみながら
4	ソフトバンク『Y!mobile』	親子 de ダンス
5	NTTドコモ『NTT DOCOMO』	カンナとミナミの約束
6	日本マクドナルド『ちょいマック』	ドライブスルーの歌
7	UQコミュニケーションズ『UQ mobile』	ずっと前のCM
8	花王『アタックZERO』	あきらめタオルよみがえる実験
9	日産自動車『企業』	やっちゃん NISSAN ハマっちゃん
10	Uber Eats Japan『Uber Eats』	今夜、私が頂くのは…トレーニング



KDDI/au



ソフトバンク/SoftBank



ゼスプリ インターナショナル ジャパン/  
ゼスプリ キウイフルーツ

2020年度のCM展開(東京キー5局):  
2446社/6631銘柄/14106作品  
集計期間:2019年11月度～2020年10月度  
(2019年10月20日～2020年10月19日)  
関東1都6県在住の一般モニター 男女3000人の  
「月例CM好感度調査」の12カ月分より集計

### 【KDDI『au』が6年連続の1位。ゼスプリ キウイフルーツは初のトップ3入り】

2020年度にCMを放送した全6631銘柄のうち、KDDI『au』が6年連続のCM好感度ナンバーワンに輝いた。松田翔太、桐谷健太、濱田岳が出演する「三太郎」シリーズが引き続きヒット。「みんな、自由だ。」をテーマに、三太郎らが鬼(菅田将暉)の合図で思い思いの方向に走り出す姿を映した年始CMで好評評価を得たほか、実写のキャストが声優を務めたアニメCMも話題を集めた。

2位はソフトバンク『SoftBank』。松本人志出演の「勝手にHERO'S」シリーズをはじめ、「5Gってドラえもん?」をコピーにドラえもんをブルース・ウィリス、45歳ののび太を塚雅人が演じるシリーズ、上戸彩が「工事がいらぬ」と言うたびに的場浩司が姿を消す『SoftBank Air』のCMなど、多彩な展開が光った。犬のお父さんがスマホのビデオ通話でオンライン里帰りをするCMも注目された。

ゼスプリ インターナショナル ジャパン『ゼスプリ キウイフルーツ』は初の総合トップ3入り。「キウイブリーダーズ」がさまざまな健康法に挑戦するも挫折し、「♪ヘルシーは好きなことを楽しみながら」などと歌い踊るCMが女性層を中心に多くの共感を呼んだ。60秒CM227回を含む計884回(総合329位)の放送回数ながら、作品別のCM好感度では総合1位となった。

### 【木村拓哉起用の日本マクドナルドと日産自動車が躍進。Uber Eatsも好調】

日本マクドナルドは2020年1月開始の『ちょいマック』のCMに木村拓哉を起用。木村が車を運転しながら「♪ドライブスルーでちょいマック」と口ずさむCMなど、「いいじゃんマック」をコピーに展開し、主婦をはじめ幅広い世代の支持を獲得。同社最高位の6位につけた。同じく木村拓哉を起用した日産自動車の企業CMは総合9位につけた。「上等じゃねえか、逆境なんて」といった木村の語りにつけて彼が電気自動車『日産 アリア』に乗り込み、「やっちゃんNISSAN」とつぶやくCMがヒット。彼が自動運転化技術と電気自動車について「ハマっちゃんだよな」と語り、ムーンウォークをしながらキー操作で日産 アリアを移動させるCMも好評で、同社として10年ぶりのトップ10入りを達成した。

UQコミュニケーションズ『UQ mobile』は、深田恭子、多部未華子、永野芽郁出演の「UQ三姉妹」シリーズの1作目の映像に「これずっと前のCMよね」などの語りを重ねたCMが好評だった。松坂慶子、大地真央、田中美佐子が「シニア三姉妹」を演じるCMなども高く評価され、CM好感度を前年度から倍増させた。2019年9月にCMを開始したUber Eats Japan『Uber Eats』は10位に入った。CMには錦織圭とくっきー!、黒柳徹子と小松菜奈、阿部寛と山田孝之を起用。「今夜、私が頂くのは…」をキーワードに、彼らが同サービスで注文した食事を待つ様子をコミカルに描いた。

詳細は専門誌「CM INDEX」2020年12月号(12月20日発売)をご覧ください。データ使用の際は「CM総合研究所調べ」の明記をお願いします。  
ご質問などはCM総合研究所のホームページ(www.cmdb.jp)のお問い合わせフォームよりご連絡ください。

## BRAND OF THE YEAR 2020を発表

CM総合研究所(東京都千代田区 代表・関根心太郎)は、2020年度(2019年11月度～2020年10月度)のCM好感度ナンバーワンブランド「BRAND OF THE YEAR 2020」を発表するとともに、CM好感度ランキング上位の顔ぶれをレポートいたします。

### 2020年度 銘柄別CM好感度トップ10(全6631銘柄)

順位	企業名『銘柄名』	代表作品名
1	KDDI『au』	みんな自由だ
2	ソフトバンク『SoftBank』	勝手にHERO'S 勝手に仲直り
3	ゼスプリ インターナショナル ジャパン『ゼスプリ キウイフルーツ』	好きなことを楽しみながら
4	ソフトバンク『Y!mobile』	親子 de ダンス
5	NTTドコモ『NTT DOCOMO』	カンナとミナミの約束
6	日本マクドナルド『ちょいマック』	ドライブスルーの歌
7	UQコミュニケーションズ『UQ mobile』	ずっと前のCM
8	花王『アタックZERO』	あきらめタオルよみがえる実験
9	日産自動車『企業』	やっちゃえNISSAN ハマっちゃう
10	Uber Eats Japan『Uber Eats』	今夜、私が頂くのは…トレーニング



KDDI/au



ソフトバンク/SoftBank



ゼスプリ インターナショナル ジャパン/  
ゼスプリ キウイフルーツ

2020年度のCM展開(東京キー5局):  
2446社/6631銘柄/14106作品  
集計期間:2019年11月度～2020年10月度  
(2019年10月20日～2020年10月19日)  
関東1都6県在住の一般モニター 男女3000人の  
「月例CM好感度調査」の12カ月分より集計

### 【KDDI『au』が6年連続の1位。ゼスプリ キウイフルーツは初のトップ3入り】

2020年度にCMを放送した全6631銘柄のうち、KDDI『au』が6年連続のCM好感度ナンバーワンに輝いた。松田翔太、桐谷健太、濱田岳が出演する「三太郎」シリーズが引き続きヒット。「みんな、自由だ。」をテーマに、三太郎らが鬼(菅田将暉)の合図で思い思いの方向に走り出す姿を映した年始CMで好評評価を得たほか、実写のキャストが声優を務めたアニメCMも話題を集めた。

2位はソフトバンク『SoftBank』。松本人志出演の「勝手にHERO'S」シリーズをはじめ、「5Gってドラえもん?」をコピーにドラえもんをブルース・ウィリス、45歳ののび太を堺雅人が演じるシリーズ、上戸彩が「工事がいらぬ」と言うたびに的場浩司らが姿を消す『SoftBank Air』のCMなど、多彩な展開が光った。犬のお父さんがスマホのビデオ通話でオンライン里帰りをするCMも注目された。

ゼスプリ インターナショナル ジャパン『ゼスプリ キウイフルーツ』は初の総合トップ3入り。「キウイブリーダーズ」がさまざまな健康法に挑戦するも挫折し、「♪ヘルシーは好きなことを楽しみながら」などと歌い踊るCMが女性層を中心に多くの共感を呼んだ。60秒CM227回を含む計884回(総合329位)の放送回数ながら、作品別のCM好感度では総合1位となった。

### 【木村拓哉起用の日本マクドナルドと日産自動車が躍進。Uber Eatsも好調】

日本マクドナルドは2020年1月開始の『ちょいマック』のCMに木村拓哉を起用。木村が車を運転しながら「♪ドライブスルーでちょいマック」と口ずさむCMなど、「いいじゃんマック」をコピーに展開し、主婦をはじめ幅広い世代の支持を獲得。同社最高位の6位につけた。同じく木村拓哉を起用した日産自動車の企業CMは総合9位につけた。「上等じゃねえか、逆境なんて」といった木村の語り続けて彼が電気自動車『日産 アリア』に乗り込み、「やっちゃえNISSAN」とつぶやくCMがヒット。彼が自動運転化技術と電気自動車について「ハマっちゃうんだよな」と語り、ムーンウォークをしながらキー操作で日産 アリアを移動させるCMも好評で、同社として10年ぶりのトップ10入りを達成した。

UQコミュニケーションズ『UQ mobile』は、深田恭子、多部未華子、永野芽郁出演の「UQ三姉妹」シリーズの1作目の映像に「これずっと前のCMよね」などの語りを重ねたCMが好評だった。松坂慶子、大地真央、田中美佐子が「シニア三姉妹」を演じるCMなども高く評価され、CM好感度を前年度から倍増させた。2019年9月にCMを開始したUber Eats Japan『Uber Eats』は10位に入った。CMには錦織圭とくっきー!、黒柳徹子と小松菜奈、阿部寛と山田孝之を起用。「今夜、私が頂くのは…」をキーワードに、彼らが同サービスで注文した食事を待つ様子をコミカルに描いた。

詳細は専門誌「CM INDEX」2020年12月号(12月20日発売)をご覧ください。データ使用の際は「CM総合研究所調べ」の明記をお願いします。  
ご質問などはCM総合研究所のホームページ(www.cmdb.jp)のお問い合わせフォームよりご連絡ください。

## BRAND OF THE YEAR 2020を発表

CM総合研究所(東京都千代田区 代表・関根心太郎)は、2020年度(2019年11月度～2020年10月度)のCM好感度ナンバーワンブランド「BRAND OF THE YEAR 2020」を発表するとともに、CM好感度ランキング上位の顔ぶれをレポートいたします。

### 2020年度 銘柄別CM好感度トップ10(全6631銘柄)

順位	企業名『銘柄名』	代表作品名
1	KDDI『au』	みんな自由だ
2	ソフトバンク『SoftBank』	勝手にHERO'S 勝手に仲直り
3	ゼスプリ インターナショナル ジャパン『ゼスプリ キウイフルーツ』	好きなことを楽しみながら
4	ソフトバンク『Y!mobile』	親子 de ダンス
5	NTTドコモ『NTT DOCOMO』	カンナとミナミの約束
6	日本マクドナルド『ちょいマック』	ドライブスルーの歌
7	UQコミュニケーションズ『UQ mobile』	ずっと前のCM
8	花王『アタックZERO』	あきらめタオルよみがえる実験
9	日産自動車『企業』	やっちゃん NISSAN ハマっちゃん
10	Uber Eats Japan『Uber Eats』	今夜、私が頂くのは…トレーニング



KDDI/au



ソフトバンク/SoftBank



ゼスプリ インターナショナル ジャパン/  
ゼスプリ キウイフルーツ

2020年度のCM展開(東京キー5局):  
2446社/6631銘柄/14106作品  
集計期間:2019年11月度～2020年10月度  
(2019年10月20日～2020年10月19日)  
関東1都6県在住の一般モニター 男女3000人の  
「月例CM好感度調査」の12カ月分より集計

### 【KDDI『au』が6年連続の1位。ゼスプリ キウイフルーツは初のトップ3入り】

2020年度にCMを放送した全6631銘柄のうち、KDDI『au』が6年連続のCM好感度ナンバーワンに輝いた。松田翔太、桐谷健太、濱田岳が出演する「三太郎」シリーズが引き続きヒット。「みんな、自由だ。」をテーマに、三太郎らが鬼(菅田将暉)の合図で思い思いの方向に走り出す姿を映した年始CMで好評価を得たほか、実写のキャストが声優を務めたアニメCMも話題を集めた。

2位はソフトバンク『SoftBank』。松本人志出演の「勝手にHERO'S」シリーズをはじめ、「5Gってドラえもん?」をコピーにドラえもんをブルース・ウィリス、45歳ののび太を塚雅人が演じるシリーズ、上戸彩が「工事がいらぬ」と言うたびに的場浩司が姿を消す『SoftBank Air』のCMなど、多彩な展開が光った。犬のお父さんがスマホのビデオ通話でオンライン里帰りをするCMも注目された。

ゼスプリ インターナショナル ジャパン『ゼスプリ キウイフルーツ』は初の総合トップ3入り。「キウイブリーダーズ」がさまざまな健康法に挑戦するも挫折し、「♪ヘルシーは好きなことを楽しみながら」などと歌い踊るCMが女性層を中心に多くの共感を呼んだ。60秒CM227回を含む計884回(総合329位)の放送回数ながら、作品別のCM好感度では総合1位となった。

### 【木村拓哉起用の日本マクドナルドと日産自動車が躍進。Uber Eatsも好調】

日本マクドナルドは2020年1月開始の『ちょいマック』のCMに木村拓哉を起用。木村が車を運転しながら「♪ドライブスルーでちょいマック」と口ずさむCMなど、「いいじゃんマック」をコピーに展開し、主婦をはじめ幅広い世代の支持を獲得。同社最高位の6位につけた。同じく木村拓哉を起用した日産自動車の企業CMは総合9位につけた。「上等じゃねえか、逆境なんて」といった木村の語り続けて彼が電気自動車『日産 アリア』に乗り込み、「やっちゃんNISSAN」とつぶやくCMがヒット。彼が自動運転化技術と電気自動車について「ハマっちゃんだよな」と語り、ムーンウォークをしながらキー操作で日産 アリアを移動させるCMも好評で、同社として10年ぶりのトップ10入りを達成した。

UQコミュニケーションズ『UQ mobile』は、深田恭子、多部未華子、永野芽郁出演の「UQ三姉妹」シリーズの1作目の映像に「これずっと前のCMよね」などの語りを重ねたCMが好評だった。松坂慶子、大地真央、田中美佐子が「シニア三姉妹」を演じるCMなども高く評価され、CM好感度を前年度から倍増させた。2019年9月にCMを開始したUber Eats Japan『Uber Eats』は10位に入った。CMには錦織圭とくっきー!、黒柳徹子と小松菜奈、阿部寛と山田孝之を起用。「今夜、私が頂くのは…」をキーワードに、彼らが同サービスで注文した食事を待つ様子をコミカルに描いた。

詳細は専門誌「CM INDEX」2020年12月号(12月20日発売)をご覧ください。データ使用の際は「CM総合研究所調べ」の明記をお願いします。  
ご質問などはCM総合研究所のホームページ(www.cmdb.jp)のお問い合わせフォームよりご連絡ください。



## BRAND OF THE YEAR 2020を発表

CM総合研究所(東京都千代田区 代表・関根心太郎)は、2020年度(2019年11月度～2020年10月度)のCM好感度ナンバーワンブランド「BRAND OF THE YEAR 2020」を発表するとともに、CM好感度ランキング上位の顔ぶれをレポートいたします。

### 2020年度 銘柄別CM好感度トップ10(全6631銘柄)

順位	企業名『銘柄名』	代表作品名
1	KDDI『au』	みんな自由だ
2	ソフトバンク『SoftBank』	勝手にHERO'S 勝手に仲直り
3	ゼスプリ インターナショナル ジャパン『ゼスプリ キウイフルーツ』	好きなことを楽しみながら
4	ソフトバンク『Y!mobile』	親子 de ダンス
5	NTTドコモ『NTT DOCOMO』	カンナとミナミの約束
6	日本マクドナルド『ちょいマック』	ドライブスルーの歌
7	UQコミュニケーションズ『UQ mobile』	ずっと前のCM
8	花王『アタックZERO』	あきらめタオルよみがえる実験
9	日産自動車『企業』	やっちゃえNISSAN ハマっちゃう
10	Uber Eats Japan『Uber Eats』	今夜、私が頂くのは…トレーニング



KDDI/au



ソフトバンク/SoftBank



ゼスプリ インターナショナル ジャパン/  
ゼスプリ キウイフルーツ

2020年度のCM展開(東京キー5局):  
2446社/6631銘柄/14106作品  
集計期間:2019年11月度～2020年10月度  
(2019年10月20日～2020年10月19日)  
関東1都6県在住の一般モニター 男女3000人の  
「月例CM好感度調査」の12カ月分より集計

### 【KDDI『au』が6年連続の1位。ゼスプリ キウイフルーツは初のトップ3入り】

2020年度にCMを放送した全6631銘柄のうち、KDDI『au』が6年連続のCM好感度ナンバーワンに輝いた。松田翔太、桐谷健太、濱田岳が出演する「三太郎」シリーズが引き続きヒット。「みんな、自由だ。」をテーマに、三太郎らが鬼(菅田将暉)の合図で思い思いの方向に走り出す姿を映した年始CMで好評を得たほか、実写のキャストが声優を務めたアニメCMも話題を集めた。

2位はソフトバンク『SoftBank』。松本人志出演の「勝手にHERO'S」シリーズをはじめ、「5Gってドラえもん?」をコピーにドラえもんをブルース・ウィリス、45歳ののび太を塚雅人が演じるシリーズ、上戸彩が「工事がいらぬ」と言うたびに的場浩司が姿を消す『SoftBank Air』のCMなど、多彩な展開が光った。犬のお父さんがスマホのビデオ通話でオンライン里帰りをするCMも注目された。

ゼスプリ インターナショナル ジャパン『ゼスプリ キウイフルーツ』は初の総合トップ3入り。「キウイブリーダーズ」がさまざまな健康法に挑戦するも挫折し、「♪ヘルシーは好きなことを楽しみながら」などと歌い踊るCMが女性層を中心に多くの共感を呼んだ。60秒CM227回を含む計884回(総合329位)の放送回数ながら、作品別のCM好感度では総合1位となった。

### 【木村拓哉起用の日本マクドナルドと日産自動車が躍進。Uber Eatsも好調】

日本マクドナルドは2020年1月開始の『ちょいマック』のCMに木村拓哉を起用。木村が車を運転しながら「♪ドライブスルーでちょいマック」と口ずさむCMなど、「いいじゃんマック」をコピーに展開し、主婦をはじめ幅広い世代の支持を獲得。同社最高位の6位につけた。同じく木村拓哉を起用した日産自動車の企業CMは総合9位につけた。「上等じゃねえか、逆境なんて」といった木村の語り続けて彼が電気自動車『日産 アリア』に乗り込み、「やっちゃえNISSAN」とつぶやくCMがヒット。彼が自動運転化技術と電気自動車について「ハマっちゃうんだよな」と語り、ムーンウォークをしながらキー操作で日産 アリアを移動させるCMも好評で、同社として10年ぶりのトップ10入りを達成した。

UQコミュニケーションズ『UQ mobile』は、深田恭子、多部未華子、永野芽郁出演の「UQ三姉妹」シリーズの1作目の映像に「これずっと前のCMよね」などの語りを重ねたCMが好評だった。松坂慶子、大地真央、田中美佐子が「シニア三姉妹」を演じるCMなども高く評価され、CM好感度を前年度から倍増させた。2019年9月にCMを開始したUber Eats Japan『Uber Eats』は10位に入った。CMには錦織圭とくっきー!、黒柳徹子と小松菜奈、阿部寛と山田孝之を起用。「今夜、私が頂くのは…」をキーワードに、彼らが同サービスで注文した食事を待つ様子をコミカルに描いた。

詳細は専門誌「CM INDEX」2020年12月号(12月20日発売)をご覧ください。データ使用の際は「CM総合研究所調べ」の明記をお願いします。  
ご質問などはCM総合研究所のホームページ(www.cmdb.jp)のお問い合わせフォームよりご連絡ください。

## BRAND OF THE YEAR 2020を発表

CM総合研究所(東京都千代田区 代表・関根心太郎)は、2020年度(2019年11月度～2020年10月度)のCM好感度ナンバーワンブランド「BRAND OF THE YEAR 2020」を発表するとともに、CM好感度ランキング上位の顔ぶれをレポートいたします。

### 2020年度 銘柄別CM好感度トップ10(全6631銘柄)

順位	企業名『銘柄名』	代表作品名
1	KDDI『au』	みんな自由だ
2	ソフトバンク『SoftBank』	勝手にHERO'S 勝手に仲直り
3	ゼスプリ インターナショナル ジャパン『ゼスプリ キウイフルーツ』	好きなことを楽しみながら
4	ソフトバンク『Y!mobile』	親子 de ダンス
5	NTTドコモ『NTT DOCOMO』	カンナとミナミの約束
6	日本マクドナルド『ちょいマック』	ドライブスルーの歌
7	UQコミュニケーションズ『UQ mobile』	ずっと前のCM
8	花王『アタックZERO』	あきらめタオルよみがえる実験
9	日産自動車『企業』	やっちゃえNISSAN ハマっちゃう
10	Uber Eats Japan『Uber Eats』	今夜、私が頂くのは…トレーニング



KDDI/au



ソフトバンク/SoftBank



ゼスプリ インターナショナル ジャパン/  
ゼスプリ キウイフルーツ

2020年度のCM展開(東京キー5局):  
2446社/6631銘柄/14106作品  
集計期間:2019年11月度～2020年10月度  
(2019年10月20日～2020年10月19日)  
関東1都6県在住の一般モニター 男女3000人の  
「月例CM好感度調査」の12カ月分より集計

### 【KDDI『au』が6年連続の1位。ゼスプリ キウイフルーツは初のトップ3入り】

2020年度にCMを放送した全6631銘柄のうち、KDDI『au』が6年連続のCM好感度ナンバーワンに輝いた。松田翔太、桐谷健太、濱田岳が出演する「三太郎」シリーズが引き続きヒット。「みんな、自由だ。」をテーマに、三太郎らが鬼(菅田将暉)の合図で思い思いの方向に走り出す姿を映した年始CMで好評評価を得たほか、実写のキャストが声優を務めたアニメCMも話題を集めた。

2位はソフトバンク『SoftBank』。松本人志出演の「勝手にHERO'S」シリーズをはじめ、「5Gってドラえもん?」をコピーにドラえもんをブルース・ウィリス、45歳ののび太を堺雅人が演じるシリーズ、上戸彩が「工事がいらぬ」と言うたびに的場浩司らが姿を消す『SoftBank Air』のCMなど、多彩な展開が光った。犬のお父さんがスマホのビデオ通話でオンライン里帰りをするCMも注目された。

ゼスプリ インターナショナル ジャパン『ゼスプリ キウイフルーツ』は初の総合トップ3入り。「キウイブリーダーズ」がさまざまな健康法に挑戦するも挫折し、「♪ヘルシーは好きなことを楽しみながら」などと歌い踊るCMが女性層を中心に多くの共感を呼んだ。60秒CM227回を含む計884回(総合329位)の放送回数ながら、作品別のCM好感度では総合1位となった。

### 【木村拓哉起用の日本マクドナルドと日産自動車が躍進。Uber Eatsも好調】

日本マクドナルドは2020年1月開始の『ちょいマック』のCMに木村拓哉を起用。木村が車を運転しながら「♪ドライブスルーでちょいマック」と口ずさむCMなど、「いいじゃんマック」をコピーに展開し、主婦をはじめ幅広い世代の支持を獲得。同社最高位の6位につけた。同じく木村拓哉を起用した日産自動車の企業CMは総合9位につけた。「上等じゃねえか、逆境なんて」といった木村の語り続けて彼が電気自動車『日産 アリア』に乗り込み、「やっちゃえNISSAN」とつぶやくCMがヒット。彼が自動運転化技術と電気自動車について「ハマっちゃうんだよな」と語り、ムーンウォークをしながらキー操作で日産 アリアを移動させるCMも好評で、同社として10年ぶりのトップ10入りを達成した。

UQコミュニケーションズ『UQ mobile』は、深田恭子、多部未華子、永野芽郁出演の「UQ三姉妹」シリーズの1作目の映像に「これずっと前のCMよね」などの語りを重ねたCMが好評だった。松坂慶子、大地真央、田中美佐子が「シニア三姉妹」を演じるCMなども高く評価され、CM好感度を前年度から倍増させた。2019年9月にCMを開始したUber Eats Japan『Uber Eats』は10位に入った。CMには錦織圭とくっきー!、黒柳徹子と小松菜奈、阿部寛と山田孝之を起用。「今夜、私が頂くのは…」をキーワードに、彼らが同サービスで注文した食事を待つ様子をコミカルに描いた。

詳細は専門誌「CM INDEX」2020年12月号(12月20日発売)をご覧ください。データ使用の際は「CM総合研究所調べ」の明記をお願いします。  
ご質問などはCM総合研究所のホームページ(www.cmdb.jp)のお問い合わせフォームよりご連絡ください。